年間授業計画　新様式

八王子北 高等学校　令和8年度（３学年用）教科　　芸術　　科目　総合美術

教　科：　芸術　　科　目：　総合美術　　単位数：　2　単位

対象学年組：第　３学年　A　組～　E　組

教科担当者：

使用教科書：（　なし　　）

教科　芸術　　の目標：

【 知　識　及　び　技　能 】芸術に関する各科目の特質について理解するとともに、意図に基づいて表現するための技能を身に付ける

【思考力、判断力、表現力等】創造的な表現を工夫したり、芸術の良さや美しさを深く味わったりすることができるようにする。

【学びに向かう力、人間性等】生涯にわたり芸術を愛好する心情を育むとともに、感性を高め、心豊かな情操を養う。

科目　総合美術　　の目標：

【知識及び技能】	【思考力、判断力、表現力等】	【学びに向かう力、人間性等】
優れた美術作品を学び、その制作の背景と素材や技法や作品の特徴を理解し、作品表現に活用することができる。	目的に合った表現方法を理解し、自身の表現に合った技術や技法を作品に結び付けるために自身のイメージを定着することが出来る。	主体的に美術の幅広い活動に取り組み、美術の伝統と文化を感受し、日常における調和のとれた創作活動を行うことが出来る。

	単元の具体的な指導目標	指導項目・内容	表現			鑑賞	評価規準	知	思	態	配当時数
			絵・彫	デ	映						
1学期	A 単元　オリエンテーション 【知識及び技能】 授業で学習する内容を理解する 【思考力、判断力、表現力等】 授業の目的を理解する。 【学びに向かう力、人間性等】	・指導事項 ・教材 ・一人１台端末の活用　等						○	○	○	2
	A 単元　篆刻制作 【知識及び技能】 篆刻の中でも遊印と呼ばれるジャンルの印鑑を彫る。 【思考力、判断力、表現力等】 作品の目的を意識しプランの考える。 【学びに向かう力、人間性等】 素材の特徴と素材に合った表現をする。	・指導事項 篆刻について理解し制作にあたる。（教材） ・一人１台端末の活用等 画像資料の活用	○				【知識及び技能】 課題の持つ意味について理解できたか。 【思考力、判断力、表現力等】 石材刀を使い使用目的の違いなどを理解して丁寧に制作することができたか。 適切な美しい表現ができたか。	○	○	○	14
	A 単元　石彫 【思考力、判断力、表現力等】 印鑑の持ち手としての石彫を行う。 【学びに向かう力、人間性等】 削り方を工夫して制作する。	・指導事項 石彫について理解し、制作する ・教材 篆刻用蝋石（教材） ・一人１台端末の活用等 画像資料の活用	○				【知識及び技能】 課題の持つ意味について理解できたか。 【思考力、判断力、表現力等】 石材刀を使い使用目的の違いなどを理解して丁寧に制作することができたか。 適切な美しい表現ができたか。	○	○	○	16
2学期	A 単元　デザイン表現(本の装丁) 【知識及び技能】 文字や色、配置などの基本を理解し、適切に表現する。 【思考力、判断力、表現力等】　内容やイメージに合わせて、構成や配色を工夫して表現する。 【学びに向かう力、人間性等】 主体的に取り組み、丁寧に仕上げる。	・指導事項 文字や色、配置を考え、本の内容やイメージに合うように構成する。 ・教材 画用紙、アクリル絵の具 ・一人１台端末の活用等 画像資料の活用		○			【知識及び技能】 文字や色、配置などのデザインの基本を理解し、適切に表現している。 【思考力、判断力、表現力等】 本の内容やイメージに合わせて、構成や配色を工夫して表現できたか。 適切な美しい表現ができたか。	○	○	○	16
	A 単元　立体表現 空間や配置、素材の扱い方の基本を理解し、立体的に表現する。 【思考力、判断力、表現力等】 箱の中の空間を生かし、配置や構成を工夫して自分のイメージを表現する。 【学びに向かう力、人間性等】 主体的に制作に取り組み、試行錯誤しながら丁寧に作品を完成させる。	・指導事項 箱の中の空間を生かし、素材を配置、構成して立体的に表現する。 ・教材 アートボックス、プラバン ・一人１台端末の活用等 画像資料の活用		○			【知識及び技能】 素材の扱い方や配置の基本を理解し、適切に表現できたか。 【思考力、判断力、表現力等】 空間や配置を工夫し、構成を考えて表現できたか。 適切な美しい表現ができたか。	○	○	○	16
3学期	A 単元　鑑賞 【知識及び技能】 様々な美術作品の干渉 【思考力、判断力、表現力等】 美術作品のジャンルや表現の違いについて楽しむ。	・指導事項 作品の違いについて理解し鑑賞する。				○	【知識及び技能】 作品の理解しができたか。	○	○	○	6
											合計 70